

無料公開シンポジウム 定員300名

# ”働くこと”のために 大学は何ができるか

2016年7月31日(日) 13時30分～16時00分 (質疑応答 ～16時30分)

会場:実践女子大学 渋谷キャンパス403教室 (地図は裏面へ)

今、大学は「社会人として役立つ”人材”を育てる場」という役割を大きく期待されている。大学に行ったからこそ身に付けることが可能な「能力」や「教養」とは、どのようなものなのだろう。そしてそれらの力は、社会に出たときにどのように活かされるのだろうか。若者の可能性を開花させ、希望を持って働き、社会を支える”人財”として送り出すために大学や社会に求められることは何なのか、話し合う。

## PROGRAM

### 【第1部】基調講演 13時30分～13時50分

鈴木 寛(文部科学大臣補佐官、東京大学教授、慶應義塾大学教授)



鈴木 寛

### 【第2部】シンポジウム 14時10分～16時00分

(質疑応答 ～16時30分)

各大学のユニークな取り組みを映像で見ながら、“働くこと”のために大学は何ができるのか、徹底討論。【ご紹介する大学】関西国際大学・大正大学・実践女子大学

#### 【パネリスト】



濱名 篤  
関西国際大学 学長

2005年より現職。大学教育学会、初年次教育学会、高等教育学会理事。著書に『初年次教育の現状と未来』等。



井原 徹  
実践女子大学 理事長

早稲田大学で長く学校運営、経営に携わった後、実践女子学園へ。2009年理事長就任。キャリア教育充実に尽力。



濱中 淳子  
大学入試センター 教授

専門は教育社会学。著書に『検証・学歴の効用』『大衆化する大学—学生の多様化をどうみるか』(編著)他。



青木 豊彦  
株式会社アオキ 会長

東大阪で航空機部品等の製造加工会社を経営。若者にモノづくりの魅力を伝え、地域を支える人材の育成に力を注ぐ。



早川 信夫  
NHK 解説委員

(敬称略)

主催:関西国際大学

共催:実践女子大学 大正大学 一般社団法人学修評価・教育開発協議会  
後援:文部科学省 一般社団法人大学教育学会 高等教育学会 初年次教育学会(予定)